

危機管理学部 能力開発と授業科目

卒業の認定に関する方針 (DP)		教育課程の編成及び実施に関する方針 (CP)					
<p>日本大学危機管理学部 (学士 (危機管理学)) は、危機管理の重責を全うしようとする使命感と高度なリスクリテラシー (危機管理能力) を備えた人材を輩出すべく、日本大学教育憲章に基づき「日本大学の目的及び使命」を理解し、「自主創造」を構築する「自ら学ぶ」「自ら考える」及び「自ら道をひらく」能力に基づく本学部 (学士 (危機管理学)) における能力を修得したものに、「学士 (危機管理学)」の学位を授与する。</p>		<p>日本大学危機管理学部 (学士 (危機管理学)) は、日本大学教育憲章 (以下、「憲章」という) を基に、専門分野を加味した卒業認定に関する方針に沿って学問分野別の教育課程を編成し実施する。 リーガルマインドに裏打ちされた多角的で着実なリスクリテラシーを開発することを目的として、「憲章」に基づく卒業の認定に関する方針として示された8つの能力 (コンピテンシー) を中心とする危機管理に不可欠な能力を養成するために、総合教育、外国語教育、初年次教育、専門教育等の授業科目を各能力に即して体系化するとともに、講義・演習・実験・実習等の授業形態を組み入れた多様な学修方法による教育課程を編成し実施する。また、学修成果の評価は、専門的な知識・技能及び態度を修得する授業科目のシラバスに明示される学修到達目標の達成度について判定し、「憲章」に示される日本大学マインド及び自主創造の8つの能力 (汎用的能力) への達成度に関しては、卒業の達成を図るための授業科目 (ゼミナール等) の修得状況や到達度と学生自身による振り返り等をもとに段階的かつ総合的に判定する。</p>					
日本大学教育憲章	要素		獲得要素		授業科目		
	能力 (コンピテンシ)	能力要素 (コンピテンシー)					
1 豊かな知識・教養に基づく高い倫理観	[DP1] 市民的素養を基礎として、高い倫理観に根差して、法学と危機管理に関する高度な学識と技能 (リーガルマインド、リスクリテラシー) を運用する能力	<p>[DP1-D] 市民的素養・市民的教養 市民的素養と参加コミュニティに積極的な変化をもたらすために、知識・スキル・価値観・動機を動員することができる。</p> <p>[DP1-E] 学識・専門技能 専門分野にかかる理論知と実践知を獲得し利用することができる。</p>	<p>[CP1-D1] 市民的素養と参加 コミュニティに積極的な変化をもたらすために、知識・スキル・価値観・動機を動員することができる。</p> <p>[CP1-E1] 学識・専門技能 専門分野にかかる理論知と実践知を獲得し利用することができる。</p>	哲学 1・2 論理学 1・2 倫理学 1・2 宗教学 1・2 文学 1・2 文章表現 1・2 歴史学 1・2 近代史 1・2 科学技術史 1・2 地理学 1・2 文化人類学 1・2 心理学 1・2 社会学 1・2 教育学 1・2 経済学 1・2 政治学 1・2	生活と法 数学 1・2 統計学 1・2 地球科学 1・2 健康の科学 1・2 救急処置法 教養特殊講義 1～6 スポーツ実技 1～3 科学技術史 1・2 地理学 1・2 文化人類学 1・2 心理学 1・2 社会学 1・2 教育学 1・2 経済学 1・2 政治学 1・2	スポーツ講義 英語Ⅰ～Ⅴ 日本語Ⅰ～Ⅴ 中国語Ⅰ～Ⅳ 韓国語Ⅰ～Ⅳ 法医学 少年法 経済刑法 国際地域研究 1・2 インテリジェンスコミュニティ 警察行政 テロリズム論 犯罪と捜査 被害者学 インフラセキュリティ 国際政治学 国際法 災害と法 事故責任法制 災害史 原子力と安全 復旧・復興論 国際人権・人道法 ストラテジー 外交史 防衛政策 平和構築論 国際化と国境管理 情報法	
	2 世界の現状を理解し、説明する力	<p>[DP2] 国際的教養人としての感性</p> <p>[DP2-A] 日本の精神文化を理解し多様な価値を受容する姿勢 地球的視点で物事を多面的に捉え、異文化との交流の重要性を認識するとともに、異文化との交流を積極的かつ多面的に行い、相互理解を促進し互恵関係を構築することができる。</p> <p>[DP2-B] 自己の特性を理解し社会に貢献しようとする姿勢 自己の存在意義を知り、自らを高め続けようとする努力をすることができる。</p>	<p>[CP2-A1] グローバル感覚 地球的視点で物事を多面的に捉え、異文化との交流の重要性を認識することができる。</p> <p>[CP2-A2] 異文化適応 異文化との交流を積極的かつ多面的に行い、相互理解を促進し互恵関係を構築することができる。</p> <p>[CP2-B1] 自己啓発 自己の存在意義を知り、自らを高め続ける努力を継続することができる。</p>	哲学 1・2 宗教学 1・2 文学 1・2 歴史学 1・2 近代史 1・2 地理学 1・2 文化人類学 1・2 社会学 1・2 教養特殊講義 5 アカデミック・スキルズ 自主創造の基礎 英語Ⅰ～Ⅴ 日本語Ⅰ～Ⅴ 中国語Ⅰ～Ⅳ 韓国語Ⅰ～Ⅳ 外国語 専門英語コミュニケーション 1・2 国際地域研究 1・2	哲学 1 心理学 1・2 健康の科学 1・2 アカデミック・スキルズ スポーツ実技 1・2・3 スポーツ講義 自主創造の基礎 救急処置法 教養特殊講義 2 日本を考える 専門英語コミュニケーション 2 安全保障論 2 平和構築論 ゼミナールⅠ～Ⅳ	国際法 防衛法制 国際人権・人道法 情報法 情報倫理 情報技術 サイバーセキュリティ論 ジャーナリズム論 基礎ゼミ	
3 論理的・批判的思考力	[DP3] 問題を適切に把握して、合理的な判断につなげられる能力	<p>[DP3-G] 状況把握力・判断力 自らの置かれた状況、及び自己が所属する集団の内外の状況を的確に把握し、適切に対応することができる。</p> <p>[DP3-H] 論理的思考力・批判的思考力 理路整然とした思考を備えつつ、偏りを排除するための内省をもって、問題・課題を合理的に解決することができる。</p>	<p>[CP3-G1] 状況把握 自らの置かれた状況、及び自己が所属する集団の内外の状況を的確に把握し、適切に対応することができる。</p> <p>[CP3-H1] 論理的思考 理路整然とした思考によって、問題・課題を合理的に解決することができる。</p> <p>[CP3-H2] 批判的思考 論理的で偏りのない思考、そのように自らの推論を内省する態度をもって、問題・課題を合理的に解決することができる。</p>	救急処置法 教養特殊講義 2 日本を考える 専門英語コミュニケーション 2 安全保障論 2 平和構築論 ゼミナールⅠ～Ⅳ	哲学 1・2 論理学 1・2 生活と法 数学 1・2 統計学 1・2 地球科学 1・2 教養特殊講義 2 自主創造の基礎 英語Ⅴ～Ⅷ 英語演習 1～4 インテリジェンス 法学概論 憲法と人権 立憲主義と統治 行政法と行政過程Ⅰ・Ⅱ 犯罪と法Ⅰ 民事訴訟Ⅰ～Ⅲ 企業取引と法 企業組織と法 企業統治と法 民事手続と法	国際法 防衛法制 国際人権・人道法 情報法 情報倫理 情報技術 サイバーセキュリティ論 犯罪と捜査 被害者学 インフラセキュリティ 国際政治学 国際法 災害と法 事故責任法制 災害史 原子力と安全 復旧・復興論 国際人権・人道法 ストラテジー 防衛政策 平和構築論 国際化と国境管理 情報法	
	4 問題発見・解決力	<p>[DP4] 問題を探求し、状況を的確に分析する能力</p> <p>[DP4-F] 探究力・課題解決力 問を設定し又は論点を特定し、それに対する答・結論・判断を合理的に導くために、論拠の収集と分析を体系的に行うとともに、オープンエンドな問題・課題に答えるための方略をデザインし、検証し実行することができる。</p> <p>[DP4-I] 理解力・分析力 文章表現、数値データを適切に扱いつつ、情報の収集と取捨選択、分析と加工を有効かつ円滑に行い、課題の解決につなげることができる。</p>	<p>[CP4-F1] 探究と論拠 問を設定し又は論点を特定し、それに対する答・結論・判断を合理的に導くために、論拠の収集と分析を体系的に行うことができる。</p> <p>[CP4-F2] 課題解決 オープンエンドな問題・課題に答えるための方略をデザインし、検証し実行することができる。</p> <p>[CP4-I1] 理解・分析と読解 文章表現における意味と含意を抽出し、分析及び理解することができる。</p> <p>[CP4-I2] 量的分析 数値データを適切に扱い、様々な文脈で量的問題を推論し、課題の解決につなげることができる。</p> <p>[CP4-I3] 情報分析 情報の収集と取捨選択、分析と加工を有効かつ円滑に行うことができる。</p>	救急処置法 アカデミック・スキルズ 自主創造の基礎 危機管理学概論 (レジュエンス) 専門英語プレゼンテーション 1・2 海外実地研修 犯罪心理学 安全保障論 1 外交史 基礎ゼミ 哲学 1・2 論理学 1・2 倫理学 1・2 宗教学 1・2 文学 1・2 文章表現 1・2 歴史学 1・2 近代史 1・2 地理学 1・2 文化人類学 1・2 心理学 1・2 社会学 1・2 教育学 1・2 経済学 1・2 政治学 1・2 生活と法 数学 1・2 統計学 1・2 地球科学 1・2 健康の科学 1・2 救急処置法 教養特殊講義 1～6 アカデミック・スキルズ コンピュータ・情報リテラシー 英語Ⅰ～Ⅴ 日本語Ⅲ・Ⅳ・Ⅵ・Ⅶ 中国語Ⅲ・Ⅳ 英語演習 1～4 危機管理学概論 (レジュエンス) リスクマネジメント リスクコミュニケーション インテリジェンス セキュリティ ロジスティクス ヒューマンエラー 情報技術と社会 行政リスクガバナンス 企業リスクガバナンス 法学概論 憲法と人権 立憲主義と統治 行政法と行政過程Ⅰ・Ⅱ 犯罪と法Ⅰ 民事訴訟Ⅰ～Ⅲ 企業取引と法 企業組織と法 企業統治と法 民事手続と法 リスクファイナンスⅠ・Ⅱ 経営学 会計学 感染症対策論 日本思想論 国際自然・環境論 比較宗教文化論 観光リスクマネジメント 危機管理特殊講義 1～6 国際地域研究 1・2 国際法 災害と法 事故責任法制 災害史 原子力と安全 復旧・復興論 国際人権・人道法 ストラテジー 防衛政策 平和構築論 国際化と国境管理 情報法 情報倫理 情報管理論 メディアコミュニケーション論 サイバーセキュリティ論 ジャーナリズム論 情報技術 プライバシーと法			
5 挑戦力	<p>[DP5] 新たな可能性を追求し果敢に挑戦し続ける行動力</p> <p>[DP5-J] 創造的挑戦力・達成力 コンピテンシの開発を生涯にわたり継続して行うことを、自らの思考及び行動のパターンとするとともに、既存のアイデアを革新的かつ創造的に統合し、リスクをとりながら、結果に結び付けることができる。</p>	<p>[CP5-J1] 継続的学修基盤 コンピテンシの開発を生涯にわたり継続して行うことを、自らの思考及び行動のパターンとすることができる。</p> <p>[CP5-J2] 創造的思考 既存のアイデアを革新的かつ創造的に統合し、一定のリスクをとりながら、結果に結び付けることができる。</p>	政治学 1・2 アカデミック・スキルズ 危機管理特殊講義 1～6 海外実地研修 危機管理実践研究 1～4				
6 コミュニケーション力	<p>[DP6] グローバルに行動できるコミュニケーション能力</p> <p>[DP6-K] 表現力・対話力 文章及び口頭で、自らの考えを的確に表現し、他者に過不足なく伝達することができる。</p>	<p>[CP6-K1] ライティング・コミュニケーション 文章によって自らの考えを表現し、読者に過不足なく伝達することができる。</p> <p>[CP6-K2] オーラル・コミュニケーション 自らの考え、信念を、聞き手に口頭で的確に伝達することができる。</p>	文学 1・2 文章表現 1・2 政治学 1・2 コンピュータ・情報リテラシー 自主創造の基礎 英語Ⅰ～Ⅴ 日本語Ⅰ～Ⅴ 中国語Ⅰ～Ⅳ 韓国語Ⅰ～Ⅳ 英語演習 1～4 行政リスクガバナンス 企業リスクガバナンス 専門英語コミュニケーション 1・2 専門英語プレゼンテーション 1・2 海外実地研修 キャリア・デザインⅠ・Ⅱ 危機管理実践研究 1～4 基礎ゼミ ゼミナールⅠ～Ⅴ				
7 リーダーシップ・協働能力	[DP7] 多様な価値を受容し、対立を乗り越え、協働を通じて社会の安定、安全と世界の平和を希求する公共心	<p>[DP7-C] 他者理解・倫理観・公共心 人間の行動の正誤に関する推論に正面から取り組み、社会的存在としての自己の行動原理を獲得することができる。</p> <p>[DP7-L] 協働力・牽引力 集団的に課題解決を行う際に、自己の立場や責任を認識し、互いに集団の連帯を強めることができる。</p>	<p>[CP7-C1] 倫理的思考・社会認識 人間の行動の正誤に関する推論に正面から取り組み、社会的存在としての自己の行動原理を獲得することができる。</p> <p>[CP7-L1] チームワーク 集団的に課題解決を行う際に、自己の立場や責任を認識し、互いに集団の連帯を強めることができる。</p>	哲学 2 論理学 1・2 倫理学 1・2 教育学 1・2 経済学 1・2 政治学 1・2 生活と法 教養特殊講義 1・2・3・4・6 危機管理学概論 (レジュエンス) ボランティア論 キャリア・デザインⅠ・Ⅱ			
	8 省察力	<p>[DP8] 課題発見・仮説構築・仮説検証・課題解決・省察のプロセスを主体的に反復する思考様式</p> <p>[DP8-M] 省察力 知識と経験とを関連付け学修成果を活用可能な状態に高めるとともに、これを新しく複雑な状況に転移させ課題解決につなげることができる。</p>	<p>[CP8-M1] 統合的・応用的学修 知識と経験とを関連付け学修成果を活用可能な状態に高めるとともに、これを新しく複雑な状況に転移させ課題解決につなげることができる。</p>	アカデミック・スキルズ 日本を考える 危機管理実践研究 1～4 ゼミナールⅠ～Ⅴ 日本を考える キャリア・デザインⅠ・Ⅱ 危機管理実践研究 1～4 ゼミナールⅠ～Ⅴ			